

東京慈恵会医科大学 内視鏡医学講座が、 膵がんを早期に発見するための血液マーカー開発に向けて、 500万円を目標にクラウドファンディングを開始

東京慈恵会医科大学内視鏡医学講座（所在地：東京都港区、講座担当教授：炭山和毅）は、クラウドファンディングサービス「READYFOR」にて、エクソソーム解析により膵がんのマーカーを見出すための研究費用獲得に向けた「膵がんを治るがんへ！早期発見を可能にする血液マーカーを見出す研究へ」を公開しました。

500万円を目標に、2023年5月15日（水）から6月30日（金）まで寄付を募ります。

（プロジェクト URL：<https://readyfor.jp/projects/exosome>）

The screenshot shows the crowdfunding page for the project "膵がんを治るがんへ！早期発見を可能にする血液マーカーを見出す研究へ" (Research to find blood markers for early detection of pancreatic cancer). The page includes a search bar, navigation links, and a main content area with a photo of a researcher in a lab. On the right, there is a funding progress section showing a goal of 5,000,000 yen, 0 donors, and 51 days remaining. There are also social media sharing buttons for Share, Twitter, LINE, and Messenger.

膵がんは診断された時に約 65%の患者さんがステージ 4 の進行がんであり（出典：厚生労働省 全国がん登録 罹患数・率報告 2018）、長く生存できる可能性が低いがんとされています。

少しでも早期に発見する方法としては、画像検査と血液中の腫瘍マーカーが一般的です。しかし、膵がんは塊を作らずに広がる傾向があり、画像検査による早期発見には限界がある上、早期発見に適した血液腫瘍マーカーも存在しません。

そこで、罹患後の治療が極めて難しい膵がんを早期に発見できるようにしたい。そのような強い思いをもって、クラウドファンディングによる研究費用獲得を目指しています。

今回は、膵がんからのメッセージカプセルである「エクソソーム」を解析することにより、がん細胞の目印を見出すことを目的としています。「膵がんの早期発見」という長年の課題に立ち向かうため、皆さまからのご寄付をお待ちしています。

■クラウドファンディングプロジェクト概要

- ・タイトル「膵がんを治るがんへ！早期発見を可能にする血液マーカーを見出す研究へ」
 - ・URL : <https://readyfor.jp/projects/exosome>
 - ・目標金額 : 500 万円
 - ・募集期間 : 2023 年 5 月 15 日 (水) 9 時~6 月 30 日 (金) 23 時 51 日間
 - ・資金使途 : 液体クロマトグラフィー・マスペクトラム (LC-MS) による、エクソソームタンパク質の網羅的解析費用など
 - ・形式 : 寄付金控除型 / All-or-Nothing 方式
- ※All-or-Nothing 方式は、期間内に集まった寄付総額が目標金額に到達した場合にのみ、実行者が寄付金を受け取れる仕組みです。
- ※期間内に目標金額の 500 万円を達成できた場合には、第二目標として 1,000 万円を設定し、より詳細な研究に向けて解析数を増やすために活用いたします。
- ・寄付コース : 3 千円から 100 万円まで計 8 コース。
- QR コードからもご覧いただけます。

